

「台湾有事」を起こさせない・沖縄対話プロジェクト

2022 - 2023

第二回

沖縄・台湾対話シンポジウム

OKINAWA



TAIWAN

台湾を戦場にしてはならない
沖縄を戦場にしてはならない

2023年4月29日(土)

琉球新報ホール

13時～16時30分

(開場12時30分)

入場料: 500円

【呼びかけ人】(五十音順、2023年4月10日現在)

新川明(元沖縄タイムス社長) | 泉川友樹(沖縄大学地域研究所特別研究員)

上里賢一(琉球大学名誉教授) | 岡田充(ジャーナリスト)

岡本厚(前岩波書店社長) | 我部政明(琉球大学名誉教授)

神谷美由希(ゼロエミッションラボ沖縄共同代表) | 高嶺朝一(元琉球新報社長)

谷山博史(日本国際ボランティアセンター(JVC)前代表理事)

本田善彦(ジャーナリスト、台湾在住) | 前泊博盛(沖縄国際大学教授)

元山仁士郎(元「辺野古」県民投票の会代表) | 与那覇恵子(元名桜大学教授)

主催: 「台湾有事」を起こさせない・沖縄対話プロジェクト

共催: 琉球新報社 後援: 沖縄タイムス社 助成: 庭野平和財団 | 大竹財団

第二回 沖縄・台湾対話シンポジウム

若い世代・市民の力で対立を乗り越える！
地域の対話で戦争を起こさせない！

世代の間に意識のギャップがあり、話が通じないというのはいつの時代にもあったことかもしれません。いま、「台湾有事」という曖昧な言葉が使われることで、いよいよ危機の実態が隠されてしまい、世代間の意識の隔たりは一段と大きくなっています。沖縄対話プロジェクトは、「保革」の壁を越え、また「世代」の壁も越えようとする試みです。4月29日の第二回シンポジウムは、若い世代、市民社会、NPOなどの間の台湾・沖縄対話を中心に行います。「台湾有事」って何なの？それは私たちの力で防げるの？誰しもが感じるそんな疑問について、一緒に考えてみたいと思います。

<<イベント詳細>>

◆開会挨拶

前泊博盛 / 沖縄国際大学教授・本プロジェクト呼びかけ人

◆ビデオメッセージ

福田康夫 / 元総理大臣（調整中）

◆基調講演 「台湾有事」とはなにか

張鈞凱 / 香港メディア「香港01」駐台湾首席記者

◆対話セッション 「台湾有事」を防ぐためになにができるか

コーディネーター / 津田大介

ジャーナリスト・メディア・アクティビスト

保守も革新も
老いも若きも
国籍も関係ない



津田大介

ジャーナリスト
メディア・アクティビスト



張鈞凱

「香港01」
駐台湾首席記者



張智琦

前・苦勞網記者
現・黒体文化編集者



李鎮邦

香港理工大学助理教授
釣魚台教育基金会



宮良 麻奈美

石垣市
住民投票を求める会



小松 寛

成蹊大学
アジア太平洋研究センター
主任研究員

◆開会挨拶 新垣毅 / 琉球新報報道本部長

2023年4月29日（土）

開演：13時～16時30分（開場12時30分）

会場：琉球新報ホール

沖縄県那覇市泉崎1丁目10-3

入場料：500円（資料代込み）

■予約不要

■オンライン配信予定（有料）

■当日のオンライン配信視聴登録の

方法は沖縄対話プロジェクトの

ホームページに掲載しています。

■琉球新報ホールの駐車場は使えません。

周辺の駐車場か公共交通をご利用ください。



当会HP

主催：「台湾有事」を起こさせない・沖縄対話プロジェクト
共催：琉球新報社 後援：沖縄タイムス社 助成：庭野平和財団 / 大竹財団
taniyama@ngo-jvc.net（谷山）、okamoto1954@yahoo.ne.jp（岡本）
Tel:080-3999-2388（沖縄対話プロジェクト）